

## 「第5回 森フェス2018」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林整備センター 山口水源林整備事務所

山口水源林整備事務所は平成30年11月18日(日)、山口市の徳地<sup>とくち</sup>青少年自然の家で開催された「第5回 森フェス2018～ポン太の一日一善～」に参加しました。

森フェスとは森林セラピー山口が主催で、森林セラピー基地に関わる多様な主体が連携・協働して、誰もが気軽に参加できる自然体験の場を提供するとともに、森を身近に感じるライフスタイルの提案を通して森林セラピーの普及啓発につなげることを目的としています。



【パネル展示】

山口水源林整備事務所は昨年の「森フェス2017」に引き続き、今回で2回目の参加となりました。

当事務所はプレイホール室内でブースを出展し、センターの事業である水源林造成事業を紹介した「パネル展示」の他、「木への漢字クイズ」や「キーホルダー・ストラップ・コースター作り」に加え、木で作った遊具「パズル・ボーリング・射的」などの遊び場コーナーを設置しました。



【クラフト作り】

当フェスの参加者は943名、山口水源林整備事務所のブースには約150名が来場され、クラフト作りやボーリング等のゲームを楽しまれていました。また、木への漢字クイズやパズルで脳トレをされた方々も満足そうな様子でした。

このイベントを通じて、参加者の方々に「木」に親しんでいただき、有意義なひとときを提供できたのではないかと思います。

来場者には当センターのリーフレットと森林が育んだ水を配布し、水源林造成事業のPRも行いました。



【遊び場コーナー】

山口水源林整備事務所は今後も積極的にこのようなイベントに参加し、地域の方々に森林の有する水源<sup>かん</sup>涵養効果の重要性に関心を持っていただけるよう取り組んでいきたいと考えています。